

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	青少年センター図書室運営			事業番号	038-070
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部	地域教育振興 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実	
		有	取組の方向性	⑥生涯学習の推進			
		有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市 計画	有・無	目標	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7	
		有	取組	生涯を通じた学びの支援			
		有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	—		
3	事業開始年度	昭和 57 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 図書室の使用については、使用の許可、使用料等に関するものを除き、堺市立青少年センター等の設置及び管理に関する条例及び堺市立青少年センター等の設置及び管理に関する条例施行規則に準ずる。 ■ 図書室の運営については、堺市立図書館管理運営規則及び堺市立図書館各種要綱・基準等に準ずる。 		
事業の概要				
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■堺市民等（約83万人）		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■ 図書情報サービスを提供することにより、青少年をはじめ、広く市民の読書活動及び生涯学習の支援を図る。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	■「図書館情報ネットワークシステム」を利用して一体的・効率的な図書の貸出・返却を行うとともに、ブックフェア等を実施している。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—		
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	—		
10	公民連携・協働事業	—		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 年間個人貸出者数	人	目標値	26,000	21,000	21,000	21,000	
		実績値	24,881	21,645			
		達成率	96%	103%			
		当該指標を選定した理由	■ 図書貸出が主要業務であるため、年間個人貸出者数に図書室の事業成果・活動実績が反映するから				
目標値の設定根拠・算出方法	■ 前年度実績から設定（緊急事態宣言発出による臨時休室、TC堺東の開館等の状況を勘案）						
12 利用者からのレファレンス・問合せ件数	回	目標値	—	—	1,900		
		実績値	1,041	1,883			
		達成率	-	-			
		当該指標を選定した理由	■ 利用者からのレファレンス・問合せへの対応内容として、利用者に対する本に関する情報の提供が含まれており、親切・丁寧な応対を職員が心がけることで、その件数の増加ひいては個人貸出者数の増加につながるから。				
目標値の設定根拠・算出方法	■ 前年度実績から設定						

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	青少年センター図書運営	事業番号	038-070
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

（単位：千円）

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	8,808	9,054	10,511	10,462	11,299
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	8,808	9,054	10,511	10,462	11,299
14 人件費 (b)	4,910	4,950	5,800	5,800	11,480
15 年間経費(c)=(a)+(b)	13,718	14,004	16,311	16,262	22,779

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								項目
16 事業費内訳	会計年度任用職員報酬	R2 決算	7,522	7,522	事務用品備品購入費	R2 決算	56	56
		R3 予算	7,693	7,693		R3 予算	0	0
	期末手当(会計年度任用職員)	R2 決算	1,201	1,201	青少年センター施設維持管理費等負担金	R2 決算	340	340
		R3 予算	1,659	1,659		R3 予算	400	400
	費用弁償(通勤費)	R2 決算	892	892	消耗品費(枠)(コロナ対応)	R2 決算	20	20
		R3 予算	1,096	1,096		R3 予算	0	0
	消耗品費(枠)	R2 決算	332	332		R2 決算		
		R3 予算	343	343		R3 予算		
	通信運搬費(枠)	R2 決算	99	99		R2 決算		
		R3 予算	108	108		R3 予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 年間個人貸出者数	人	24,881	21,645
② 上記①にかかる年間経費	千円	14,004	16,262
③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	563	751
備考(算出についての説明等)	—		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

- 18
- 令和2年度より新たに会計年度任用職員制度が始まったことにより、報酬や期末手当等の経費が前年度より増加した。
 - 新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休室期間があったことにより、成果指標の年間個人貸出者数は減少したが、活動指標のレファレンス件数については積極的な取組みを行った結果、増加させることができた。
 - 閲覧室の面積は堺市の図書施設の中で最も狭く、また図書費の配分も最も少ないことから蔵書数は他の分館の3割以下であるにも関わらず、貸出者数は他の分館の7割程あることから、効果は高いものとする。

KPI等への寄与(基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

- 19
- 広く市民の読書活動及び生涯学習の支援を図るため、司書資格保有者を5人配置し、レファレンスサービスの充実に努めている。また、新型コロナウイルス感染症拡大による休室期間中も、図書館業務に必要な研修を受講するなどして、各職員のスキルアップを図ることにより、利用者サービスの向上に努めることができた。
 - すべての子どもたちが質の高い教育を受ける機会を得られるよう、子どもの頃から図書館の利用を習慣づけるとともに、未来を担う子どもたちに読書の魅力を知ってもらうために、児童書を多く配置している。
 - 読書離れの進む青少年層に、本に対する関心を持ってもらえるよう青少年向けコーナーを設置したほか、興味を引くような展示物を配置するなどして、これまで学習室の利用しなかった人にも図書室を利用しやすく感じてもらう工夫を行っている。